

東に病気の子どもあれば 行って小児はりをしてやり  
西に疲れた母あれば 行って鍼灸産後ケアで助ける



さういふ鍼灸師にわたしはなりたい

こんな勉強をします

- ✓ 東洋医学からみた産後の基本体質
- ✓ 母乳の出が悪い & 乳腺炎
- ✓ 産後のイライラ・疲れが取れない・産後うつ
- ✓ めまい・膀胱炎…などなど

産後ケアを鍼灸で行うためには

産後の女性に適切な鍼灸治療をするためには東洋医学の産科婦人科の知識は必須です。

「婦人科には三陰交」「乳腺炎にはこのツボ」「産後ケアにはこうすれば良い」などのテンプレ知識が巷には溢れています。しかし！プロフェッショナルならば、治療のツボを暗記し、治療テクニックをコレクションするのではなく、症状や愁訴が起こる理由（病理）を理解することが大切です。

婦人科の勉強だけでは足りない！？

産後女性の治療には、産後ケアの知識と治療技術だけでは十分とはいえません。

実際の現場では産科・婦人科の知識はもちろん、小児科の知識も必要となる場面が多々あります。妊娠から産後育児まで、広い見識で産後育児中の女性のケアにあたる必要があります。

◆セミナー開催情報

日時：毎月 第4日曜日（10：30～17：00）

会場：足立鍼灸治療院（大阪府河内長野市）

最寄り駅：千代田駅（南海高野線）

会費：6000円

※初参加は4,000円

※学生割引あり

※年会費は別途必要

※詳細情報はQRコード先にて



【講師紹介】

足立 繁久 先生

鍼道五経会 代表

ママサポート鍼灸院 院長

大阪大学医学系研究科・

先進融合医学共同研究講座 特任研究員として、癌疾患・自己免疫疾患に対する漢方と鍼灸の併用治療に従事。

自院においては、お子さん・妊婦さん・産後ママさんへの治療を一貫して行っている。

